

TTC 定例山行実施記録表

2012年7月21日 報告者:稲生俊雄

山行名	車山・蝶々深山（霧ヶ峰高原） [1925m・1839m 長野県]			
実施日	平成24年7月15日(日) 日帰り マイクロバス利用			
天候/参加人員	天候:雨のち霧時々晴れのち曇り レベル:★ 参加者:16名(男7名/女9名)			
パーティスタッフ	CL/計画:、SL:、会計:、救護:、写真:、ドライバー: スタッフ名削除			
参加メンバ	参加者氏名削除 TTCメンバ 15 名/ ゲスト参加:1 名			
費用 一人当たり: 5,300円 TTC キャンパ金 ¥1,950	費用合計: ¥82,850 集金:@5,300×16 名=84,800 キャンパ金へ ¥1,950 〔費用内訳〕 マイクロバスレンタル料: ¥40,000 燃料代:@115×(400+50)÷5=10,350 ドライバー謝礼: ¥18,000 高速料金(相模湖～諏訪@2,350×往復): ¥4,700 お風呂代(回数券利用の14名分): ¥9,800			
		歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイトブック	2:50	—	
	計画	3:15	1:05	4:20
	実行	3:13	1:00	4:13
実行コースタイム記録				
中央高速道 大門街道 ビーナライン 48分 ヨーカドー前==市内各所==相模湖 IC==諏訪 IC==白樺湖==車山肩——車山頂上 06:08 07:19 09:07 9:43 9:58・10:18 11:06 着 49分(昼食) 25分 40分 31分 車山——蝶々深山——物見岩——奥霧の小屋トイレ前——八島ビジターセンター== 11:18 発 12:07・12:37 13:02・13:10 13:50・14:00 14:31・15:00 すずらんの湯(入浴)==諏訪 IC==双葉 SA(夕食)==相模湖 IC==市内各所==ヨーカドー前 15:27・16:25 17:05 18:01・18:35 21:50 22:50				
コースの概要、特記事項、反省事項等				
未明までの雨も止んで、朝には多少の晴れ間も出てきて、梅雨の中休みを感じさせる晴れの予報の中、好天を期待して予定より多少早くヨーカドー前を出発。三連休の中日で中央高速はそれほど混んでなく、順調に進む。甲府を過ぎ、諏訪湖に近づくにつれて、時々雨が降る不安定な天候となった。9時過ぎに諏訪インターを降りて、大門街道を一路白樺湖方面へ向かう。白樺湖を過ぎて霧ヶ峰に向かう途中、かなり激しく雨が降る場面もあったが、ケータイの天気予報ではお昼から晴れとなっており、天候の回復を期待して霧ヶ峰に向かう。車山に近づくにつれて、霧が濃くなって、バスの中から眺望が全くなくなることもあったが、雨も小降りになってきたことから、予定通り車山の肩からスタートすることにした。 小雨の中、全員雨具を着用し準備運動を行い、一路車山に向け10時18分に出発。天候があまり良くないにもかかわらず、結構多くの登山者(中には単なる観光客と思われる人も)に会った。50分ほどで車山山頂に到着。風が強く小雨が降り、眺望もない。約10分休憩をとり、記念撮影を行う。車山を下りる途中から雨がやみ、急に天候が回復してきた。ピンクのかわいいハクサンフウロや時期最後のレンゲツツジが咲いていた。車山を下りきったところにニッコウキスゲの群落があり、黄色い花が一面に広がっていた。 蝶々深山に登る途中、霧が晴れ、日差しが射した時には、緑のじゅうたんが一面に広がった非常に美しい風景も見えた。12時07分に蝶々深山に到着し、お昼ごはんタイムとする。昼食を取っている最中にも急に霧が攻めてきて、小粒の雨が降ってきた。か、と思うと霧が晴れ、日差しが射すなど、目まぐるしく天気が変わっていった。昼食後、記念写真を撮り出発(12時37分)。 前日までの雨のせいか、もともと湿地帯のためか、蝶々深山を超えてからドロドロの場所が続く。靴はもちろん、雨具のズボンのすそまで泥だらけになった。(中にはひざ近くまで泥だらけになる人も...)				

八島ヶ原湿原手前のトイレ付近で休憩を取る。近くに水たまりがあり、みんな靴や雨具を水たまりで洗った。(ここから先は八島ヶ原湿原の木道なのでどろに遭うことはない)この時に、Cさんから『汚れている奴がいたら洗ってやるぞ〜』との声がかかった。汚れのひどい連中(私を含めて)はその言葉に甘え、水たまりの中でCさんに洗ってもらう。(Cさんがこんなにきれい好きとは知らなかった)

湿原の外周の木道を歩き、八島ビジターセンターに着いたのは午後2時30分。ここで、雨具を脱ぎ(雨はもう上がっていた)、各自整理体操をして、マイクロバスに乗り、15時に出発。かなり時間に余裕があるということで、当初の予定通り温泉(すずらの湯)に立ち寄ることにした。

午後4時半にすずらの湯を出たが、予想外の大渋滞(多少の渋滞は予想していたが、三連休の中日ということもあり、それほど大きな渋滞にはならないと思っていたのが大きな誤算)。双葉SAで早めの夕食を取り、出発したのが午後6時半過ぎであったが相模湖インターに着いたのが午後9時50分となってしまった。各所を経由して厚木に着いたのが午後11時前。

梅雨の最中とはいえ、比較的天候に恵まれ多くの花に巡り合えた霧ヶ峰山行だった。

みなさんお疲れ様でした。

※ 今回、山の天候の変化の早さを改めて感じました。しかし、みなさん、雨具を適宜脱着して快適な山行となったと思います。

※ 三連休の中日でしたが思いのほか帰りの高速が混んでいました。最近、不景気のせいか、連休でも安近短の日帰り旅行が多くなっているのかもしれませんが。今後注意が必要と思います。

【追記】

5月例会(5/19)の当初参加申し込み締め切り時点の参加申込者が8名しかいなかった。そこでレンタカーの車種をマイクロバスから、15人乗りハイエースに変更をお願いしたが、3連休の中日で、ハイエースの空車がなく、変更できないことが判明した。そこで、一時はマイカー利用も考えたが、定例山行では、原則としてマイカーを利用しないことになっていることもあり、再募集を実施するとともに、世話人に参加者集めのご努力頂いた。この努力の甲斐があり、その後、8名の追加申込みをいただき(TTC-OBメンバ1名を含む)、総勢16名に倍加。一人あたりの費用が何とかリーズナブルな金額に納まった。最近、古参メンバのアクティビティが下がってきており、特に過去に何度も実施した場所の山行ではその傾向が顕著である。また、ハイシーズン時のレンタカーの手配は、2ヶ月以上前に実施しないと、今回のように希望の車種が確保できない場合が増えてきている。これらの対策について、定例山行の募集締切日を早める。最初から参加応募者数を予測して募集定員を絞る。レンタカー利用をやめて、公共交通利用に変える等の種々の対応策が考えられる。今後の定例山行の交通手段並びに募集定員のあり方について、世話人会の中で議論して、なるべくリスクの少ない方法に変更していく必要がある。